

ジェネリック医薬品に関するアンケート（薬局向け）

注：ジェネリック医薬品の取扱いがない薬局については回答不要です。

薬局開設者 各位


奈良県では、ジェネリック医薬品にまつわる様々な不安や不信、課題を解消することにより使用促進につなげていくことを目的として、「奈良県後発医薬品安心使用促進協議会」を設置し、使用推進事業を実施しています。

このアンケートは、ジェネリック医薬品がある程度定着した現段階における、課題やニーズを調査し、より効率的な使用促進につなげていくことを目的としておこなうものです。

いただいたご回答はアンケートの目的以外には一切使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。

回答期限は **9月30日（水）** までとさせていただきます。**郵送**（同封の**返信用封筒**をご使用下さい）、**FAX（0742-27-3029）** または**電子申請（推奨）**で回答願います。

なお、**電子申請**でご回答いただく場合は、奈良県薬務課ホームページ（<http://www.pref.nara.jp/18089.htm>）の注目情報の「ジェネリック医薬品に関するアンケートについて」をクリックしていただき、入力画面に直接入力してください。

スマートフォンからアクセスする場合はこちら 
 どうぞよろしく願いいたします。

奈良県薬務課 薬事・献血係 担当 村上（TEL:0742-27-8670）



回答所要時間 約5～10分

問1 ジェネリック医薬品を取り扱う中で良かった点についてお尋ねします。

あてはまるものをすべて選び、**✓**印を付けて下さい。（複数選択可）

- 1 患者の費用負担が軽減した
- 2 医療費全体の抑制になる
- 3 仕入れコストが軽減した
- 4 消費税の納税額が減った
- 5 保険点数の加算が行える
- 6 剤形・パッケージ等工夫がされている
- 7 薬剤師と患者との間で、医薬品を選択・決定出来る
- 8 薬剤師の資質向上につながった
- 9 患者とのコミュニケーションが増えた
- 10 ジェネリック医薬品を使用し、患者に喜ばれた
- 11 その他（ ）

問2 ジェネリック医薬品を取り扱う中で発生した問題点についてお尋ねします。あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数選択可)

- ① 品質、有効性、安全性に関するデータが不十分である
- ② メーカーや卸売業者の情報提供体制が不十分である
- ③ メーカーや卸売業者の安定供給体制が不十分である
- ④ 患者からの苦情が増えた
- ⑤ 医療機関と薬局間の情報共有や連携が不十分である
- ⑥ 先発医薬品の適応症と異なる場合がある
- ⑦ 品目数が増え、医薬品の管理の負担や期限切れのリスクが増えた
- ⑧ 処方箋受付から患者に薬を渡すまでにかかる時間が増えた
- ⑨ 調剤過誤(ヒヤリ・ハットを含む)が増えた
- ⑩ 収入が減った
- ⑪ 特に問題はない
- ⑫ その他 ()

問3へ

問3 問2 ①～⑤について、具体事例があれば記載をお願いします。

(差し支えない範囲で結構です)

問4 ジェネリック医薬品の使用に関して、医療機関に望むことがあれば記載をお願いします。

問5 ジェネリック医薬品から先発医薬品に戻ったご経験はありますか。あてはまるものを1つ選び、✓印を付けて下さい。ある場合は、具体事例の記載をお願いします。(差し支えない範囲で結構です)

- あり
なし

「あり」の具体事例

問6 本協議会ではジェネリック医薬品使用推進事業の一環として講演会の実施を検討しています。どのような内容であれば、参加してみたいですか。

あてはまるものを選び、✓印を付けて下さい。(2つまで)

- 1 先発医薬品とジェネリック医薬品の同等性について
2 ジェネリック医薬品の情報提供体制について
3 ジェネリック医薬品の安定供給について
4 ジェネリック医薬品の臨床効果について
5 在庫管理について
6 ジェネリック医薬品の選定基準について
7 効果的な患者への説明方法について
8 医療機関と薬局間の連携について
9 その他 ()

ご協力ありがとうございました。

貴施設名：

(差し支えなければ記載をお願いします)